

# 地震だっ!どろする!?

防災特集

いつ起こるかわからない大地震。  
しかもコロナ禍のいま、地震が起こっても避難所に避難するのは……。  
避難とは「難を避けること」、安全な場所にいれば避難所に行く必要はありません。  
住み慣れた自宅で避難する「在宅避難」のために必要なことを考えてみましょう。



だからいまは

## 在宅避難

そのために準備したいこと

### 食べ物の備蓄はローリングストックで



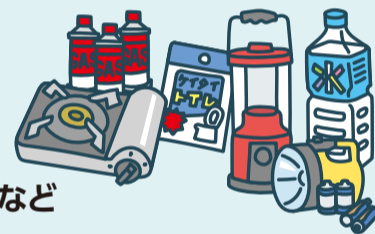
「在宅避難」に一番必要なものは、食べるもの。  
災害時には物流が復旧するまで、7日間(最低で3日間)も必要といわれています。  
食べ物や飲み物は、普段から食べ慣れているものを少し多めに買って置き、定期的に食べて買い足す循環備蓄(ローリングストック)で備えましょう。

### トイレの準備も忘れずに

生活必需品などが十分か確認しましょう。  
マンション住まいの人にとって特に大切なのは、停電時の避難生活。  
停電すると水も流れなくなるので、トイレの備えは万全にしましょう。

#### 備えておきたいもの

- カセットコンロ、ガス缶
- LEDランタン、懐中電灯
- トイレ用凝固剤(簡易トイレ)など



### マンションにお住まいの方は……

かつては「向こう三軒両隣」などといいましたが、同じ階の住民を知っていますか？  
災害時にはマンション単位でまとまって、「安否確認」や情報収集、救助など住民同士の協力(共助)はとても大切です。  
自治会や管理組合を中心に自主防災組織を作るなど、普段から顔の見える関係を心がけましょう。



在宅避難に必要なものは、  
家族によって異なります。  
赤ちゃんや高齢者、ペットなど、  
大切な家族を守るために  
何が必要か考えましょう。



### 区役所はマンション住民の「つながり」を支援します

天王寺区では、マンションの防災や自主防災組織づくりをお手伝いする専任の職員を配置しています。  
平日・休日・夜間でもアドバイスに伺いますので、お気軽にお問い合わせください。



問 市民協働課(安全まちづくり室) ☎ 6774-9899

## SDGs ～持続可能な社会をめざして～

2030年までに達成すべき国際社会全体の17の「持続可能な開発目標」である「SDGs(エスディーゼズ)」。「目標11」では、2030年までに災害による死者や被災者数を大幅に削減することをめざしており、天王寺区も地域の力を結集した「防災力」向上の取組を進めています。

11 住み続けられるまちづくりを



目標11

住み続けられるまちづくりを:

都市と人間の居住地を包摂的、安全、強靱かつ持続可能にする